

サマーセミナー2013報告

清水 毅¹⁾, 伊藤 康一²⁾, 野村 安國³⁾,

1) 山梨大学 2) 東北大学 3) 東京ウェルズ

2013年度のサマーセミナーは、8月19日～20日の2日間、山梨県笛吹市の石和温泉郷「石和びゅーほてる」にて開催された。若葉研究会の発表は28件、チュートリアルセッションでは1件の特別講演をお願いした。参加者数は企業7名、大学教員19名、学生32名の合計58名であった。

1. はじめに

第22回目となるサマーセミナーは、山梨県笛吹市「石和びゅーほてる」において8月19日、20日の2日間にわたり合宿形式で開催された。映像情報メディア学会メディア工学研究会との共催は、2004年以来、今回で10回目となる。

サマーセミナーの主目的は、学生や企業の若手研究者など若葉研究者に研究発表の場を提供すること、若葉研究者と研究指導者（企業研究者や大学教員）との交流の場を与えること、両学会の研究室学生諸君、研究者同士の交流を図ることである。

2. 開催準備と実施形態

2012年11月から企画を開始し、両学会で検討を重ねた。共催となってからは両組織が交代で主担当となっており、今回は画像応用技術専門委員会が中心となった。以下に示す企画委員会を設置し、清水企画委員長のもと、伊藤幹事（メディア工学研究会）、野村幹事（画像応用技術専門委員会）が中心となって準備を行った。構成は以下の通りである（敬称略）。

画像応用技術専門委員会側

- ・清水 毅（山梨大学、委員長）
- ・野村 安國（東京ウェルズ、幹事）
- ・青木 義満（慶應義塾大学）
- ・糊澤 信（旭硝子）
- ・子安 大士（埼玉大学）
- ・渋谷 久恵（日立製作所）
- ・中村 明生（東京電機大学）
- ・藤原 孝幸（中京大学）

メディア工学研究会側

- ・伊藤 康一（東北大、幹事）
- ・村松 正吾（新潟大学）

サマーセミナーでは、若葉研究会での優秀な発表者に表彰が贈られる。優秀発表賞については、以下の9名で構成される優秀発表賞審査委員会を設置して審査を行った。例年と同様、審査委員会のメンバ全員がすべての発表を聴講することで公正かつ平等な審査を行った。

優秀発表賞審査委員会（敬称略）

代表会委員

- ・清水 毅（山梨大学、企画委員長）
- ・伊藤 康一（東北大、企画委員幹事（書記））
- ・輿水 大和（中京大学、画像応用技術専門員

会委員長）

- ・梅田 和昇（中央大学、画像応用技術専門委員会副委員長）
- ・村上 和人（愛知県立大学 メディア工学研究会委員長）

審査委員（敬称略、50音順）

- ・奥平 雅士（東京都市大学）
- ・渋谷 久恵（日立製作所、画像応用技術専門委員会副委員長）
- ・柳井 隼知（ファースト）
- ・山本 和彦（岐阜大学 名誉教授）

3. サマーセミナー報告

3.1 参加者数と開催状況

参加者数は、企業7名、大学教員19名、学生32名の合計58名（男性53名、女性5名）であった。御協力頂いた関係各位に感謝申し上げたい。会場は多目的ホールを使用した。リラックスした雰囲気で行進しつつも、質疑応答では、熱心な指導が入る場面もあった。

3.2 若葉研究会

学生発表は若葉研究会28件であり、発表時間・質疑応答時間に余裕を持たせたプログラムであったため、活発な議論が行えた。特に学生からの質問が多く、他大学の学生との情報交換が密に行われた。座長は、舟橋琢磨氏（中京大学）、入野裕章氏（ファースト）、子安大士氏（埼玉大学）、村松正吾氏（新潟大学）、野村安國氏（東京ウェルズ）、曾我麻佐子氏（龍谷大学）にお願いした。サマーセミナーの特徴として、様々な立場の方からの質問・コメントが多く寄せられる。そのため、座長の進行も難しいが、限られた時間の中、円滑なセッション進行をして頂いた座長各位には感謝したい。

3.3 チュートリアルセッション

今年度は「画像処理の理論と実際」というテーマのもと、1名の講師に特別講演をお願いした。2日目の若葉研究発表後に、橋本学氏（中京大）に「実課題への挑戦 ～企業・大学における画像処理R&Dに関する雑感～」と題して、画像処理の最先端研究が実際にどのように行われているのか講演して頂いた。企業と大学における研究のあり方や人材育成の違いなどもお話し頂き、若葉諸君だけ

でなく大学教員にとっても大変貴重な講演であった。お忙しい中ご講演頂いた橋本先生にはこの場を借りて心より感謝申し上げる。なお、座長は、棚澤信氏（旭硝子）にお願いした。

3.4 最優秀発表賞

今回の発表は、どの発表もレベルが高く、審査員を大いに悩ませた結果、以下の3名の受賞者に賞状とカップが贈呈された（図1）。優秀発表賞のカップは持ち回りで、次回のサマーセミナーまで受賞者の研究室に飾られることになる。研究の励みになることを期待する。

優秀発表賞受賞者（発表順、敬称略）

山尾創輔（東北大学）

秋元孝夫（愛知県立大学）

櫻本泰憲（中京大学）

なお、次点は、今村勇也氏（中央大学）、藏野隼二氏（慶應大学）でオーナブルメンションとして紹介された。

3.5 懇親会

入浴後、大広間にて夕食をとり、その後、多目的ホールにて懇親会を行った。親密な雰囲気の中、世代を超えたタテの交流、同世代のヨコの交流が行われた。参加者の手土産により、潤沢な飲み物がそろい、また、手土産の紹介もあった。途中からは研究室学生による指導教員紹介や若手社員による上司の紹介があり、大いに盛り上がった。その後、客室にて有志参加の2次会が行われ、例年通り、ある部屋では朝まで教員・企業人・学生の枠を超えた歓談が行われた。

4. おわりに

今年度のサマーセミナーも、和やかな雰囲気の中



図1 優秀発表賞受賞者から喜びの声
（左から山尾氏、秋元氏、櫻本氏）

うちに無事終了した。図2は、会場玄関前にて撮影した集合写真である。

サマーセミナー2013の準備にあたり、会場設営・運営補助にあたった山梨大学および東北大学の学生アルバイト各位、料金設定や会場準備その他でご配慮いただいた「石和びゅーほてる」の皆様には心より御礼申し上げます。また、お世話になった皆様に全員に、紙面を借りて感謝の意を表したい。

今回のサマーセミナーは、メディア工学研究会が中心となって開催する。伊藤康一企画委員長（東北大学）を中心に企画を行い、2014年夏に開催する予定である。

謝辞

最後に、アドコム・メディア油井様より寄付をいただきました。ここに感謝の意を示します。



図2 サマーセミナー2013参加者集合写真（2013年8月20日 石和温泉郷にて）